



「友達がうれしくなるような話のきき方をしよう」(ソーシャルスキルトレーニング)

○ 本時のねらい

上手な聴き方の意義や大切さを理解させ、ポイントを使って話を聴くことができるようにする。

○ 展開(45分)

学 習 活 動	教師の働き掛け	準備物
<p>1 本時のねらいを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 友達がうれしくなるような話のきき方の練習をしよう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ひやかさない。 ・はずかしがらない。 ・よいところを見つける。 </div> <p>2 モデリングを見て、話を聴くポイントを知る。</p> <p>【モデリング】</p> <p>I 相手を見ず、相づちを打たないで話をさえぎる。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>T 2 : ねえねえ、昨日ね…。</p> </div> </div> <div style="margin-left: 20px; margin-bottom: 10px;"> <p>T 1 : …。</p> </div> <p>II ポイントを使って聴く。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>T 2 : ねえねえ、昨日ね、ホームラン打ったんだ。</p> </div> </div> <div style="margin-left: 20px; margin-bottom: 10px;"> <p>T 1 : すごいね。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【あいさつのポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の顔を見る。 ・最後まで聴く。 ・うなずきながら聴く。 ・相づちを打つ。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・話の聴き方の違いで相手が嬉しくなったり、悲しい気持ちになったりすることを確認する。 ・人とのかかわり方の学習をする時の約束を確認する。 ・T Tでモデリングをする前にポイントを示すT 1の行動を見ておくように伝える。 ・IIのモデリングがよかったことを確認するために、T 2の気持ちを尋ねる。 ・聴き方のポイントを児童から引き出す。 	<p>表情カード</p> <p>めあてカード</p> <p>約束カード</p> <p>ポイントの短冊</p>

3 聴き方のポイントに気を付けながら練習する。

(1) 練習①をする。



昨日、ホームラン
打ったんだ。

すごいね。
よかったね。



相手を見て、最後まで
聴いていました。

(2) 練習①を振り返り、話し合う。



(3) 練習②を行う。

(4) 練習②を振り返る。



C:へえ、よかったね。
C:今度読んだら、ど
んなお話か教え
て。

T1:さっき図書館で、予約し
ていた本が借りられた
よ。
T1:すごくおもしろそうだよ。

4 学習のまとめをする。

・4人組を作り、「話す役」「聴く役」「見守る役」に分かれて、交替で練習することを説明する。

・「見守る役」に顔マークの使い方やよかったところを「聴く役」に伝えることを確認する。

・シナリオを見ながら練習してもよいことを伝える。

・振り返りシートには、自己評価で振り返るように伝える。

・聴き方のポイントを全体で共有できるように、ポイントが達成できている児童をモデルとして紹介する。

・「見守る役」はよい2回目の練習に向けて頑張りたいポイントを記入するよう伝える。

・アドリブでもできるように、2回目は「休み時間にしたこと」「夏休みにしたこと」というテーマを与える。

・アドリブなので、短くてもよいこと、ポイントは1つでもよいことを伝える。

・アドリブでできていた児童とT1でモデルをする。

・学習の感想を紹介し、ポイントを使って話を聴くことのよさを確認する。

役割カード

2種類の顔マーク

振り返りシート

5 チャレンジ週間で取り組むことを知る。	・チャレンジ週間を設けることを知らせ、取り組み方を説明する。	チャレンジシート
----------------------	--------------------------------	----------

《参考URL》

- 平成 22・23 年度佐賀県教育センタープロジェクト研究 小・中・高等学校教育相談研究委員会
http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/h23/06%20kyouiku-soudan/index.html

○ 振り返りシートより

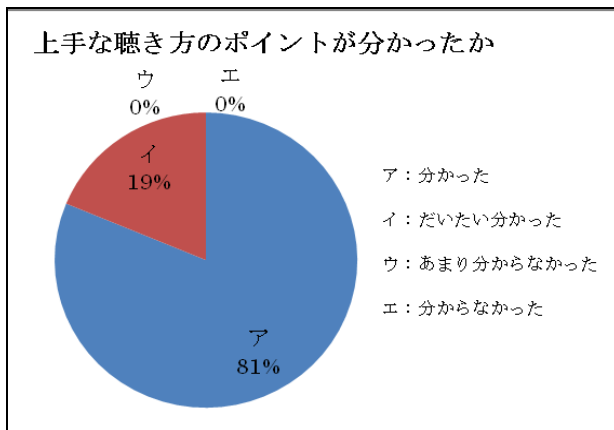


図 1 授業後のアンケート結果

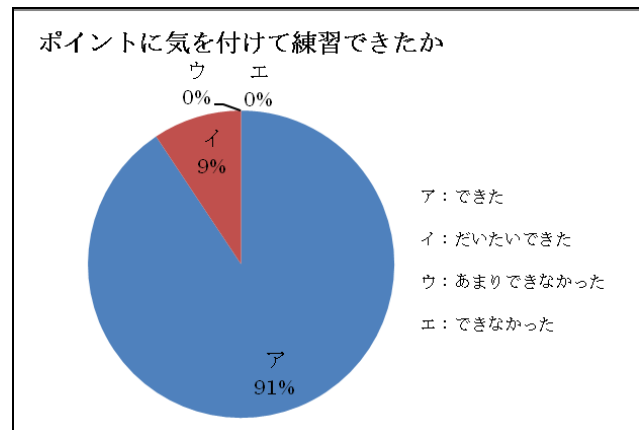


図 2 授業後のアンケート結果

【集団について】

- ・上手な聴き方が分かったし、練習で話す役になった時、話をちゃんと聴いてもらえて嬉しかった。
- ・笑顔で聴いてくれて嬉しかった。
- ・聴き方が上手になって気持ちいい。
- ・聴く時も話す時も嬉しくなった。
- ・話を聴いていたら、おもしろく感じた。
- ・これからもみんなが嬉しくなるような話の聴き方をしたいと思った。

【個人について】

- A：そういう言い方があるなんて知らなかったの、覚えられてよかった。
- B：聴き方で仲良くなれるからいいことだと思う。
- C：学習が楽しかった。
- D：こういうことをすると相手も自分も楽しくなったと思う。

○ 実践を振り返って

【集団について】

- ・ 2回目のソーシャルスキルトレーニングであり、学習の約束や流れを理解してスムーズに進めることができた。
- ・ 振り返りシートからは聴き方のポイントを理解し、ポイントを使うと互い気持ちよくなることができるというスキルのよさを感じることができた。
- ・ うなずきながら聴くというポイントが 0.1 点上がっている(図3)が、練習場面では、台本を読むことに夢中になり、相手の顔を見る、最後まで聴く、うなずきながら聴くといったポイントを十分意識することができていなかった。
- ・ 2回目の練習は予定を変更して「夏休みにしたこと」「休み時間にしたこと」というテーマを与え、即興で練習するようにした。すべてのポイントが難しい場合は、1つでもいいので意識して練習するよう声を掛けた。しかし、台本がなく戸惑う児童も見られたため、よく出来ていた児童をモデルとして紹介して、全員で聴き方のポイントを確認することができた。

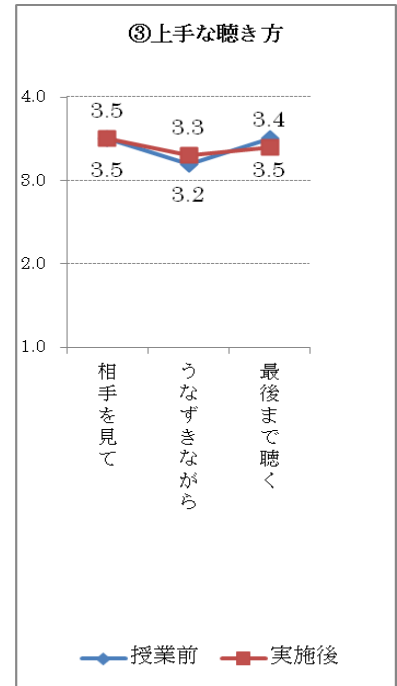


図3 集団のスキルの獲得状況

【個人について】

- ・ Aが前時で練習に戸惑っていたため、休み時間に事前にどのような授業をするのか、不安なことはないか話をした。Aは前時よりも自分から練習に取り組むことができた。図4からもうなずきながら聴くというポイントが向上したことが分かる。
- ・ B、C、Dは、振り返りシートや授業の様子から授業の進め方にも慣れ、ポイントの理解や練習ができたと考えられる。
- ・ Cは、普段は自己主張をすることが多いが、最後まで聴くというポイントが向上したことが分かる(図4)。

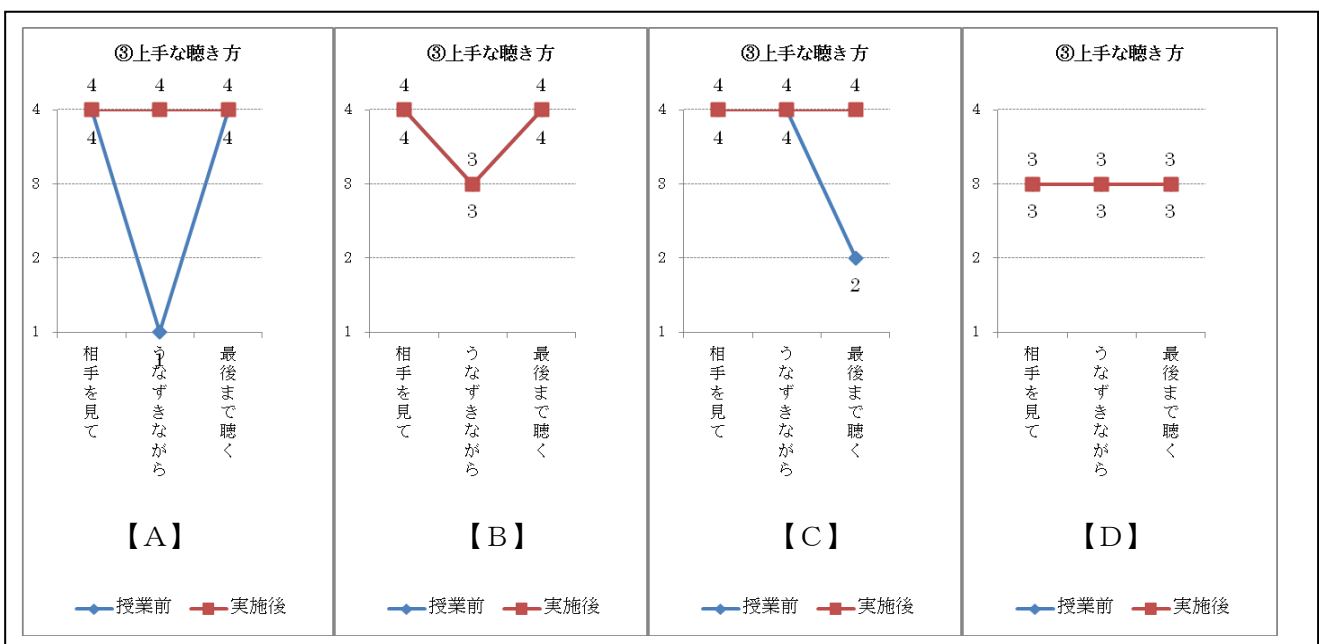


図4 個人のスキルの獲得状況